

注3

大学番号：私立290

[令和2年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

宇部フロンティア大学 心理学部 心理学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 香川学園
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部

職名・氏名 フチャウ シミス ダイスケ
部長・清水 大輔

電話番号 0836-38-0500

（夜間） 0836-38-0500

F A X 0836-38-0600

e-mail soumu@frontier-u.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 香川学園

(2) 大学名

宇部フロンティア大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒755-0805

山口県宇部市文京台二丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アイハラ ツギオ) 相原 次男 (平成28年7月)		
学長	(ナガサカ ユウジ) 長坂 祐二 (平成30年4月)		
学部長	(コウダ アキラ) 高田 晃 (令和2年4月)		
学科長等		(クヌギモト ノリコ) 楯本 知子 (令和2年4月)	学科運営の円滑化を図るため選任、令和2年4月1日(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	70人	3年次 5人	290人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	70人 () []	—人 () []	0.77倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	108 (—) [3]	— (—) [—]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	106 (—) [3]	— (—) [—]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	105 (—) [3]	— (—) [—]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	54 (—) [3]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A									0.77				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	54 [3]	— [—]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	54 [3]	[—] (—)

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	54人	0人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{54} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	入門	心理学基礎ゼミナールⅠ	1前	1			4		3			1
		心理学基礎ゼミナールⅡ	1後	1			4		3			1
	情報処理	情報処理演習(インターネット)	1前	1								1
		情報処理演習(文書作成)	1前	1								1
		情報処理演習(表計算)	1後	1								1
		情報処理演習(プレゼンテーション)	1後	1								1
		情報処理演習(プレゼンテーション)	1後	1								1
	語学	日本語Ⅰ(留学生向け)	1前		1							1
		日本語Ⅱ(留学生向け)	1後		1							1
		日本語Ⅲ(留学生向け)	2前		1							1
		日本語Ⅳ(留学生向け)	2後		1							1
		英語Ⅰ	1前	1								1
		英語Ⅱ	1後	1								1
		心理学ビジネス英語Ⅰ	2前		1							1
心理学ビジネス英語Ⅱ		2後		1							1	
基礎・教養科目	社会の理解	心理学英語文献演習Ⅰ	2前								1	
		心理学英語文献演習Ⅱ	2後								1	
		社会学	1前		1							1
		法学	1後		2							1
		社会学	1後		2							1
	自然の理解	経済学	1後		2			1				1
		経営学	2前		2							1
		地域文化論	1前	2								1
		ジェンダー・人権論	1前		2							1
		時事問題講読Ⅰ	3前		1							1
人間の理解	時事問題講読Ⅱ	3後		1							1	
	生物学	1前		2							1	
	健康科学(食と健康)	1前		2							2	
	人体の構造と機能及び疾病	1後		2							1	
	地球の環境	1前		2							1	
コミュニケーション科目	統計学	1後		2							1	
	脳科学	1後		2							1	
	文学	1前		2							1	
	哲学	1前		2							1	
	倫理学	1前		2							1	
	対人関係論	3前		2							1	
	文化人類学	1後		2							1	
	文化人類学	1後		2							1	
キャリア科目	日本語表現法演習Ⅰ	1前	1								1	
	日本語表現法演習Ⅱ	1後	1								1	
	日本語表現法演習Ⅲ	2前		1							1	
	日本語表現法演習Ⅳ	2後		1							1	
	異文化コミュニケーション論	2前		2							1	
	コミュニケーション論	2後		2		2		2		1	1	
	表現アートセラピー演習Ⅰ	1前		1		1					1	
	表現アートセラピー演習Ⅱ	1後		1		1					1	
	フィールドスタディⅠ	3前	1					2	1		1	
	フィールドスタディⅡ	3後	1					2	1		1	
フィールドスタディⅢ	4前	1					2	1		1		
キャリアデザインⅠ	1前		1							1		
キャリアデザインⅡ	2後		1			1				1		
キャリアデザインⅢ	3後		1			1				1		
キャリアデザインⅣ	4前		1			1				1		
インターンシップⅠ	2後		1			1				1		
インターンシップⅡ	3前		1			1				1		
インターンシップⅢ	3後		1			1				1		
小計(53科目)	-		18	54	0	6	0	3	1	0	23	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	入門	心理学基礎ゼミナールⅠ	1前	1			4		1	2		1
		心理学基礎ゼミナールⅡ	1後	1			4		1	2		1
	情報処理	情報処理演習(インターネット)	1前	1								1
		情報処理演習(文書作成)	1前	1								1
		情報処理演習(表計算)	1後	1								1
		情報処理演習(プレゼンテーション)	1後	1								1
		情報処理演習(プレゼンテーション)	1後	1								1
	語学	日本語Ⅰ(留学生向け)	1前		1							1
		日本語Ⅱ(留学生向け)	1後		1							1
		日本語Ⅲ(留学生向け)	2前		1							1
		日本語Ⅳ(留学生向け)	2後		1							1
		英語Ⅰ	1前	1								1
		英語Ⅱ	1後	1								1
		心理学ビジネス英語Ⅰ	2前		1							1
心理学ビジネス英語Ⅱ		2後		1							1	
基礎・教養科目	社会の理解	心理学英語文献演習Ⅰ	2前								1	
		心理学英語文献演習Ⅱ	2後								1	
		社会学	1前		2							1
		法学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
	自然の理解	経済学	1後		2							1
		経営学	2前		2			1				1
		地域文化論	1前	2								1
		ジェンダー・人権論	1前		2							1
		時事問題講読Ⅰ	3前		1							1
人間の理解	時事問題講読Ⅱ	3後		1							1	
	生物学	1前		2							1	
	健康科学(食と健康)	1前		2							2	
	人体の構造と機能及び疾病	1後		2							1	
	地球の環境	1前		2							1	
コミュニケーション科目	統計学	1後		2							1	
	脳科学	1後		2							1	
	文学	1前		2							1	
	哲学	1前		2							1	
	倫理学	1前		2							1	
	対人関係論	3前		2							1	
	文化人類学	1後		2							1	
	文化人類学	1後		2							1	
キャリア科目	日本語表現法演習Ⅰ	1前	1								1	
	日本語表現法演習Ⅱ	1後	1								1	
	日本語表現法演習Ⅲ	2前		1							1	
	日本語表現法演習Ⅳ	2後		1							1	
	異文化コミュニケーション論	2前		2							1	
	コミュニケーション論	2後		2		2		1	1		1	
	表現アートセラピー演習Ⅰ	1前		1		1					1	
	表現アートセラピー演習Ⅱ	1後		1		1					1	
	フィールドスタディⅠ	3前	1						1	1	1	
	フィールドスタディⅡ	3後	1						1	1	1	
フィールドスタディⅢ	4前	1						1	1	1		
キャリアデザインⅠ	1前		1							1		
キャリアデザインⅡ	2後		1			1				1		
キャリアデザインⅢ	3後		1			1				1		
キャリアデザインⅣ	4前		1			1				1		
インターンシップⅠ	2後		1			1				1		
インターンシップⅡ	3前		1			1				1		
インターンシップⅢ	3後		1			1				1		
小計(53科目)	-		18	54	0	6	1	2	1	0	23	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部共通	心理学概論Ⅰ	1前	2			1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2			1					
		ビジネス心理学概論	1後	2			3		1			
		健康・医療心理学	3前		2		1		1			1
心理学基礎科目	心理学基礎科目	福祉心理学	1後							1		1
		教育・学校心理学	3後				2					
		司法・犯罪心理学	4前				2					3
		心理学研究法	2前	2			1					
心理学基礎科目	心理学基礎科目	心理学研究法演習	2前		1				1			
		心理学統計法	2後	2			1					
		心理学統計法演習	2後		1				1			
		心理学実験Ⅰ	2前		2				1			
心理学基礎科目	心理学基礎科目	心理学実験Ⅱ	2後		2				1			
		知覚・認知心理学	2前		2		1					
		学習・言語心理学	2後		2							1
		感情・人格心理学	2後		2			1				
心理学基礎科目	心理学基礎科目	神経・生理心理学	2前		2		1					
		発達心理学	2前		2		2					
		生涯発達心理学Ⅰ(乳幼児期)	3前		2							1
		生涯発達心理学Ⅱ(児童期・青年期)	3後		2		1					
心理学基礎科目	心理学基礎科目	生涯発達心理学Ⅲ(成人期・老年期)	3前		2							1
		経営組織論	3前		2		1					
		組織行動論	3後		2							1
		経営戦略論	3前		2							1
心理学基礎科目	心理学基礎科目	色彩心理学	3前		2		1					
		色彩心理学演習	3後		1		1					
		ストレス・マネジメント論	3後		2		1					
		ポジティブ心理学	3後		2		1					
心理学基礎科目	心理学基礎科目	コミュニティ心理学	3前		2		1					
		マーケティング論	3前		2							1
		行動経済学	3後		2							1
		マスメディア論	3後		2							1
心理学展開科目	心理学展開科目	公認心理師の職責	2前		2		2					
		臨床心理学概論	2前	2			3					
		社会・集団・家族心理学	2後		2		1		1			
		障害者・障害児心理学	3後		2							2
心理学展開科目	心理学展開科目	心理的アセスメント	3前		2				1			
		心理学的支援法	2後		2		1		1			
		産業・組織心理学	4前		2							1
		精神疾患とその治療	3前		2							1
心理学展開科目	心理学展開科目	関係行政論	2前		2							1
		チーム医療論	4後		2		1		1			1
		発達障害児支援論	3後		2		2				1	
		心理検査法演習	3後		1				1			1
心理学展開科目	心理学展開科目	集団心理療法演習Ⅰ	2前		1				1			
		集団心理療法演習Ⅱ	2後		1				1			
		心理演習Ⅰ	2後		1			2	1			1
		心理演習Ⅱ	3前		1			2	1			1
心理学展開科目	心理学展開科目	心理実習Ⅰ	3後		2			2	1			1
		心理実習Ⅱ	4前		2			2	1			1
		ビジネス心理コース演習Ⅰ	2前		1		2					1
		ビジネス心理コース演習Ⅱ	2後		1		2					1
ゼミナール(卒業研究を含む)	ゼミナール(卒業研究を含む)	ビジネス心理コース演習Ⅲ	3前		1		2					1
		ビジネス心理コース演習Ⅳ	3後		1		2					1
		ビジネス心理コース演習Ⅴ	4前		1		2					1
		ビジネス心理コース演習Ⅵ	4後		1		2					1
ゼミナール(卒業研究を含む)	ゼミナール(卒業研究を含む)	公認心理師コース演習Ⅰ	2前		1		3		2			
		公認心理師コース演習Ⅱ	2後		1		3		2			
		公認心理師コース演習Ⅲ	3前		1		3		2			
		公認心理師コース演習Ⅳ	3後		1		3		2			
ゼミナール(卒業研究を含む)	ゼミナール(卒業研究を含む)	公認心理師コース演習Ⅴ	4前		1		3		2			
		公認心理師コース演習Ⅵ	4後		1		3		2			
		卒業研究	4通		4		3		1			1
		小計(63科目)	-	12	96	0	6	0	3	1	0	14

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部共通	心理学概論Ⅰ	1前	2			1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2			1					
		ビジネス心理学概論	1後	2			3		1			
		健康・医療心理学	3前		2		1		1			1
心理学基礎科目	心理学基礎科目	福祉心理学	1後								1	
		教育・学校心理学	3後				2					
		司法・犯罪心理学	4前				2					3
		心理学研究法	2前	2			1					
心理学基礎科目	心理学基礎科目	心理学研究法演習	2前		1					1		
		心理学統計法	2後	2			1					
		心理学統計法演習	2後		1						1	
		心理学実験Ⅰ	2前		2					1		
心理学基礎科目	心理学基礎科目	心理学実験Ⅱ	2後		2					1		
		知覚・認知心理学	2前		2		1					
		学習・言語心理学	2後		2							1
		感情・人格心理学	2後		2			1				
心理学基礎科目	心理学基礎科目	神経・生理心理学	2前		2		1					
		発達心理学	2前		2		2					
		生涯発達心理学Ⅰ(乳幼児期)	3前		2							1
		生涯発達心理学Ⅱ(児童期・青年期)	3後		2		1					
心理学基礎科目	心理学基礎科目	生涯発達心理学Ⅲ(成人期・老年期)	3前		2							1
		経営組織論	3前		2		1					
		組織行動論	3後		2							1
		経営戦略論	3前		2							1
心理学基礎科目	心理学基礎科目	色彩心理学	3前		2		1					
		色彩心理学演習	3後		1		1					
		ストレス・マネジメント論	3後		2		1					
		ポジティブ心理学	3後		2		1					
心理学基礎科目	心理学基礎科目	コミュニティ心理学	3前		2		1					
		マーケティング論	3前		2							1
		行動経済学	3後		2							1
		マスメディア論	3後		2							1
心理学展開科目	心理学展開科目	公認心理師の職責	2前		2		2					
		臨床心理学概論	2前	2			3					
		社会・集団・家族心理学	2後		2		1		1			
		障害者・障害児心理学	3後		2							2
心理学展開科目	心理学展開科目	心理的アセスメント	3前		2					1		
		心理学的支援法	2後		2		1		1			
		産業・組織心理学	4前		2							1
		精神疾患とその治療	3前		2							1
心理学展開科目	心理学展開科目	関係行政論	2前		2							1
		チーム医療論	4後		2		1		1			1
		発達障害児支援論	3後		2		2				1	
		心理検査法演習	3後		1					1		1
心理学展開科目	心理学展開科目	集団心理療法演習Ⅰ	2前		1				1			
		集団心理療法演習Ⅱ	2後		1				1			
		心理演習Ⅰ	2後		1			2	1			1
		心理演習Ⅱ	3前		1			2	1			1
心理学展開科目	心理学展開科目	心理実習Ⅰ	3後		2			2	1			1
		心理実習Ⅱ	4前		2			2	1			1
		ビジネス心理コース演習Ⅰ	2前		1		2					1
		ビジネス心理コース演習Ⅱ	2後		1		2					1
ゼミナール(卒業研究を含む)	ゼミナール(卒業研究を含む)	ビジネス心理コース演習Ⅲ	3前		1		2					1
		ビジネス心理コース演習Ⅳ	3後		1		2					1
		ビジネス心理コース演習Ⅴ	4前		1		2					1
		ビジネス心理コース演習Ⅵ	4後		1		2					1
ゼミナール(卒業研究を含む)	ゼミナール(卒業研究を含む)	公認心理師コース演習Ⅰ	2前		1		3		1	1		
		公認心理師コース演習Ⅱ	2後		1		3		1	1		
		公認心理師コース演習Ⅲ	3前		1		3		1	1		
		公認心理師コース演習Ⅳ	3後		1		3		1	1		
ゼミナール(卒業研究を含む)	ゼミナール(卒業研究を含む)	公認心理師コース演習Ⅴ	4前		1		3		1	1		
		公認心理師コース演習Ⅵ	4後		1		3		1	1		
		卒業研究	4通		4		3		1	2		1
		小計(63科目)	-	12	96	0	6	1	2	1	0	14

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
合計(116科目)			-	30	150	0	6	0	3	1	0	35
卒業要件及び履修方法												
<small>(必修科目30単位、語学の選択科目から2単位以上、社会の理解、自然の理解及び人間の理解の選択科目から6単位以上、学部共通の選択科目から4単位以上、心理学基礎科目の選択科目から12単位以上、心理学展開科目の選択科目から30単位以上、ゼミナール(卒業研究を含む)から6単位修得し、124単位以上修得すること。心理実習Ⅰ及び心理実習Ⅱはビジネス心理コースの学生は履修することができない。ビジネス心理コースの学生はビジネス心理コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、ビジネス心理コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。公認心理師コースの学生は公認心理師コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、公認心理師コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))</small>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
合計(116科目)			-	30	150	0	6	1	2	1	0	35
卒業要件及び履修方法												
<small>(必修科目30単位、語学の選択科目から2単位以上、社会の理解、自然の理解及び人間の理解の選択科目から6単位以上、学部共通の選択科目から4単位以上、心理学基礎科目の選択科目から12単位以上、心理学展開科目の選択科目から30単位以上、ゼミナール(卒業研究を含む)から6単位修得し、124単位以上修得すること。心理実習Ⅰ及び心理実習Ⅱはビジネス心理コースの学生は履修することができない。ビジネス心理コースの学生はビジネス心理コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、ビジネス心理コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。公認心理師コースの学生は公認心理師コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、公認心理師コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))</small>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- (1) 開講期の変更
・ 時間割編成において、「法学」の開講期を「1年後期」から「1年前期」に変更。
- (2) 職位変更に伴う担当者数の変更
・ 心理学基礎ゼミナールⅠ及びⅡの担当者数を「教授4、講師3」から「教授4、准教授1、講師2」に変更。
・ コミュニケーション論の担当者数を「教授2、講師2」から「教授2、准教授1、講師1」に変更。
・ フィールドスタディⅠ、Ⅱ及びⅢの担当者数を「講師2、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
・ 心理的アセスメントの担当者数を「講師1」から「准教授1」に変更。
・ 心理学的支援法の担当者数を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
・ 心理検査法演習の担当者数を「講師1」から「准教授1」に変更。
・ 集団心理療法演習Ⅰ及びⅡの担当者数を「講師1」から「准教授1」に変更。
・ 心理演習Ⅰ及びⅡの担当者数を「講師2、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
・ 心理実習Ⅰ及びⅡの担当者数を「講師2、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
・ 公認心理師コース演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ及びⅥの担当者数を「教授3、講師2」から「教授3、准教授1、講師1」に変更。
・ 卒業研究の担当者数を「教授3、講師1、兼任・兼任1」から「教授3、准教授1、兼任・兼任1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	93 科目	0 科目	116 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	宇部フロンティア大学短期大学部（必要面積2,600㎡）と共用		
	校舎敷地	㎡	9,455㎡	1,010㎡	10,465㎡			
	運動場用地	㎡	2,650㎡	㎡	2,650㎡			
	小 計	㎡	12,105㎡	㎡	12,105㎡			
	そ の 他	㎡	20,971㎡	㎡	20,971㎡			
	合 計	㎡	33,076㎡	1,010㎡	34,086㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	宇部フロンティア大学短期大学部（必要面積3,600㎡）と共用		
		㎡	12,323㎡	1,320㎡	13,643㎡			
		(㎡)	(12,323㎡)	(1,320㎡)	(13,643㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	13室	12室	8室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	心理学部 心理学科			10 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	心理学部	8,581 [1,298] (7,812 [1,289])	83 [16] (72 [16])	0 [0] (0 [0])	172 177 (177)	96 (96)	0 (0)	
	計	8,581 [1,298] (7,812 [1,289])	83 [16] (72 [16])	0 [0] (0 [0])	172 177 (177)	96 (96)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	593.38㎡	86席		55,000冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1,378㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	150千円	150千円	図書購入費	0千円	400千円	400千円
		共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	100千円	100千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,260千円	1,010千円	1,010千円	1,010千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		宇部フロンティア大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
心理学部	4	70	3年次人	70	学士(心理学)	0.77	0.77	-	令和2	-	
心理学科	4	70	3年次人	70	学士(心理学)	0.77	0.77	-	令和2	山口県宇部市文京台二丁目1番1号	3年次編入学定員は、令和4年4月から学生募集開始
人間社会学部	4	-	3年次10	230	学士(福祉心理学)	-	-	-	平成14	-	
福祉心理学科	4	-	3年次10	230	学士(福祉心理学)	-	-	-	平成14	山口県宇部市文京台二丁目1番1号	令和2年4月学生募集停止(3年次編入学定員は、令和4年4月学生募集停止)
人間健康学部	4	80	3年次5	330	学士(看護学)	0.88	0.78	-	平成19	-	
看護学科	4	80	3年次5	330	学士(看護学)	0.88	0.78	-	平成19	山口県宇部市文京台二丁目1番1号	
大学全体	-	150	15	630	-	-	-	-	-	-	
大学の名称		宇部フロンティア大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
人間科学研究科	2	15	-	30	修士(臨床心理学)	0.64	0.47	-	平成16	-	
臨床心理学専攻	2	15	-	30	修士(臨床心理学)	0.64	0.47	-	平成16	山口県宇部市文京台二丁目1番1号	
大学院全体	-	15	-	30	-	-	-	-	-	-	
大学の名称		宇部フロンティア大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
保育学科	2	80	-	160	短期大学士(保育)	0.57	0.53	-	昭和40	山口県宇部市文京台二丁目1番1号	
食物栄養学科	2	50	-	100	短期大学士(食物栄養)	0.76	0.58	-	昭和42	同上	
短大全体	-	130	-	260	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	0	3	1	10	0	4	1	2	1	8	0
(4)	(0)	(3)	(1)	(8)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	1	2	1	10	0	6	1	2	1	10	0
[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	2 名	5 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{8} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計 「該当なし」

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>教員組織編制の将来構想として、完成年度以降の専任教員採用については、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るべく、学科全体として専門分野・職階・年齢構成に偏りがないよう配慮して行い、教員組織の継続性に問題が出ないようにすることとしている。</p>	<p>履行中</p> <p>完成年度までは計画している教員数で運営する。その後の採用については、定年規程の趣旨を踏まえるとともに、教員組織編制の将来構想に配慮して行う。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○多様なメディアを高度に利用した授業 学則に記載していなかった。</p> <p>○ディプロマ・ポリシーの見出しについて ディプロマ・ポリシーに記載している身に付ける5つの能力 について、見出しを全学共通としていた。</p>	<p>○多様なメディアを高度に利用した授業 学則に記載し、多様なメディアを高度に利用した授業が できることとした。</p> <p>○ディプロマ・ポリシーの見出しについて ディプロマ・ポリシーに記載する身に付ける5つの能力につ いて、学生の理解を深めるため、見出しを全学共通の 内容を踏まえた心理学科独自の表現に変更した。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD・SD委員会、教学マネジメント委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD・SD委員会の委員は、副学長及び事務部長である。教学マネジメント委員会の委員は、学長、副学長、事務部長及び教務課長であり、審議内容によって学生代表及び外部委員を招集している。 令和元年度は、FD・SD委員会は12月に1回開催した。教学マネジメント委員会は、7月に1回、9月に1回、10月に2回開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD・SD委員会の審議事項</p> <p>(1) FD・SDの企画及び実施に関する事項 (2) FD・SDに関する情報の収集及び提供に関する事項 (3) FD・SDの実施に関わる支援及び評価に関する事項 (4) その他委員会が必要と認めた事項</p> <p>教学マネジメント委員会の審議事項</p> <p>(1) アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー及びディプロマポリシーに係る事項 (2) アセスメントポリシーに係る事項 (3) 教育課程の編成に係る事項 (4) 成績評価に係る事項 (5) 学修成果の把握・可視化に係る事項 (6) FD、SDに係る事項 (7) IRに係る事項 (8) 情報公開に係る事項 (9) その他教学マネジメントに関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>①FD・SD研修会の実施 ②授業アンケートの実施 ③アセスメントポリシーに基づくアセスメントの実施と情報の共有</p> <p>b 実施方法</p> <p>①については授業改善や管理・運営関係の内容を全学で実施。②については、実習科目を除くすべての科目で実施。 ③については、教学マネジメント委員会で作成し、大学評議会及び各教授会で報告される。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p>
--

①については、令和元年12月25日に、「シラバス改善」及び「授業改善」のFDを行った。大学教員の参加者は19名であった。また、2月10日にFD・SD研修会を行った。大学教員の参加者は20名であった。

②については、各学期の授業最終回付近に行った。

③については、教学マネジメント委員会においてアセスメントを行い、大学評議会及び教授会において報告した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・シラバスに事前事後学習の時間数記載するようにした。
- ・シラバスにナンバリングを記載するようにした。
- ・GPA制度とキャップ制度を見直した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年度、各学期の授業最終回頃に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの集計結果を、各教員にフィードバックしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育課程については、計画通り1年次前期配当の科目を開設できており、担当者変更もしていない。教員組織については、就任予定の専任教員が予定通り就任し、学部の使命・目的達成のための体制は整っている。令和2年度の入学者数については、入学定員70名に対し54名の入学となり、入学定員未充足となっている。今後は、教育研究の質を上げるとともに、心理学部の広報に力を入れ、さらなる入学者の確保に努める。以上のことから、設置の趣旨・目的の達成状況については、概ね順調であると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和2年12月 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和2年12月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。